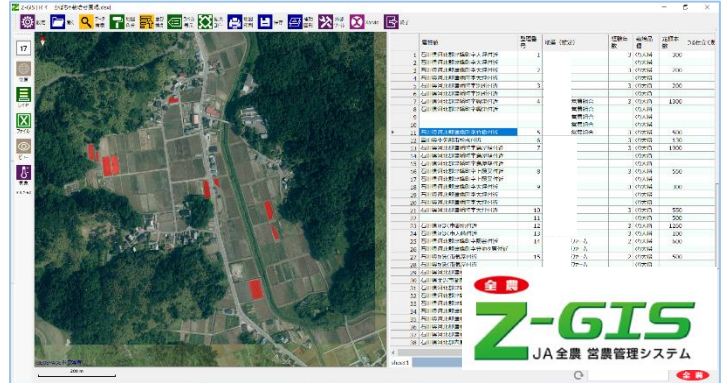




【農業DX】 デジタル技術を活用した営農指導

農業者への対応を今まで以上に効率化・高度化するために、営農指導業務でのデジタル技術の導入と活用が考えられます。

営農戦略室では、かぼちゃで、ZGISを利用して、圃場位置、定植日、定植本数、着荷日等を把握し、適時の営農指導の実施や、集積したデータに基づく出荷予測を行うことによる有利販売の実現に向けて、取り組みを進めています。



また、ういずOneにおいて、LINEを用いた情報提供や生産者とのコミュニケーション促進を準備中です。



営農指導におけるデジタル技術活用をテーマとした研修会も企画しておりますので、改めてご案内いたします。

7/28 事業間連携研修会 開催しました

7月28日、(株)JOJO 舟木代表取締役を講師とし事業間連携研修会を実施しました。

JAの営農・経済・信用・共済部門等の連携による総合力を発揮した事業提案を行うにあたり、JA内の情報共有体制の構築・強化の手法を学びました。

本県では、TAC管理者をJA総合事業マネージャーと位置づけ、事業間連携の責任者として、TAC活動を中心に他部門との事業間連携を図りながら、担い手経営体の満足度向上、JA事業利用の拡大のため、総合事業提案を行っております。

事業間連携においては、組織としてのパフォーマンス向上のためのコミュニケーションによる「**チームビルディング**」や、未来を起点に解決策を見つける「**バックキャスト思考**」が重要なポイントとして説明がありました。



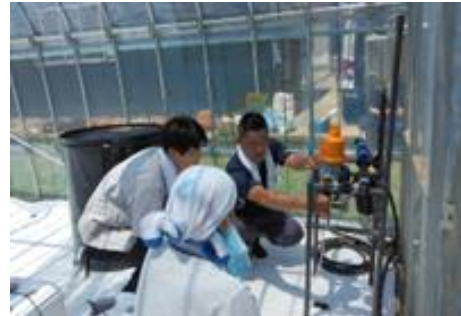
本研修では、グループディスカッションやグループワークを取り入れ、JA間の情報交換も行いましたが、既に事業間連携会議を開催しているJAにおいては、今後のチーム運営向上の参考として、また、未実施JAにおいては会議開催のきっかけになることを期待します。

ういずOne 県内導入拡大！

7月6日にJAののいち管内で、21日にはJA金沢市管内で、新規にういずOneシステムの導入、設置作業を行いました。石川県内では、平成27年から導入されており、これで県内では**19カ所目**の設置となります。

また、石川県ういずOne研究会では現在、全導入圃場の巡回指導を行っており、高温期の栽培管理など養液栽培の管理技術向上に取り組んでいます。

なお、10月には、ういずOneシステムの実証栽培を行っている全農園芸種苗センターにて、見学会の開催を予定しています。水稻育苗ハウスや遊休ハウスの活用の一つとして提案できるよう、システムの説明や取り組み事例を紹介しますので、ぜひご参加ください。



7/25 農業版BCP研修会 開催しました

7月25日、11JA16名にご参加いただき、**BCP**を単独のテーマとした営農戦略室主催では**初めて**の研修会をWEB会議方式で開催しました。

研修会では、「農業版BCPの概要およびBCP作成手順」について、農林水産省経営局保険課農業経営収入保険室の松田課長補佐より、BCPの内容、農業版BCP様式の記入ポイントの説明、BCP普及に係る農水省の取組みおよび普及のための施策の紹介がなされました。

農水省の説明に先立ち、営農戦略室からBCPの理解促進のため、リスクの取扱い方の考え方を説明しました。

今後も、農業者のリスク管理と危機管理の実施支援に資する説明会や情報提供を行っていきます。



～8月の予定～



日時	内容	場所
8月4日（木）10：00～	野菜栽培技術研修会(排水対策)	園芸種苗センター内圃場
8月5日（金）13：00～	第1回野菜栽培概論講習会	教育センター 第1教室

【お問い合わせ先】 J Aグループ石川営農戦略室 岩田
TEL：076-240-5051 FAX：076-240-9120